

明 細 書

化粧品容器

関連出願の相互参照

本出願は、２００２年１０月１８日に提出された日本特許出願２００２－３０４６８２号、並びに日本特許出願２００２－３０４６８３号に基づく優先権を主張し、その内容を本明細書中に援用する。

技術分野

本発明は、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧品容器に関する。

背景技術

一般に化粧品容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧品容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や蓋体に装飾を施すようにしていた。

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願２００１－２４９０００を出願している。

ところで、従来の化粧品容器にあっては、製品としての化粧品容器を高級感溢れる高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあっても、

容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があった。

このような要請は反面、化粧料容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧料容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選べるようにすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧料容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

発明の開示

本発明は以上の問題点を考慮してなされたものであり、その目的の1つは、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供することである。

前記の目的及び他の目的を達成するために、この発明の1つの実施形態に係わる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に装着される交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーを保持させるために、これら両者を該交換用カバーのスライド方向に係脱自在に係止する係止部とを備えたことを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。

また、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、前記スライド係合部が、

前記蓋体もしくは前記容器本体および前記交換用カバーのいずれか一方にスライド方向に沿って設けられた凹部と、いずれか他方に設けられて該凹部にスライド自在に挿入される凸部とを備え、前記係止部が、上記凹部内に弾性変形自在に設けられて上記凸部に係脱自在に係合する係止突起であることを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧品容器にあっては、凹部と凸部によって、蓋体もしくは容器本体と交換用カバーのスライド操作を案内することが可能で、安定した操作性を確保し得るとともに、係止突起の弾性変形によって、凸部の係脱操作の容易化を図り得る。

また、この発明の他の実施形態に係わる化粧品容器は、前記凹部および前記凸部が、前記交換用カバーのスライド方向の適宜位置に設けられるとともに、上記凹部にはこれに上記凸部を挿抜自在に挿入するための切り欠き部が設けられていることを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧品容器にあっては、スライド操作を案内する凹部内への凸部の挿入をスライド方向の適宜位置で行うことが可能となり、スライド操作量を短くできて、交換用カバーの脱着操作の簡便化を図り得る。

また、この発明の他の実施形態に係わる化粧品容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧品容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に重ね合わせて装着される弾性変形可能な交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に、スライドされる該交換用カバーに係止する係止部と、上記蓋体もしくは上記容器本体に設けられ、上記交換用カバーを上記係止部から離脱させるために該交換用カバーの弾性変形を許容する窪み部とを備えたことを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧品容器にあっては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが

可能となる。

また、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、前記蓋体もしくは前記容器本体と前記交換用カバーとの間には、該交換用カバーを当該蓋体もしくは容器本体に保持する保持部が設けられていることを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、蓋体もしくは容器本体に係止されるスライド自在な交換用カバーを固定的にしっかりと蓋体に保持することが可能となる。

その他、本願が開示する課題、及びその解決方法は、発明の実施の形態の欄、及び図面により明らかにされる。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明にかかる化粧料容器の好適な第1実施形態を示す側断面図である。

第2図は、第1図の化粧料容器の蓋体の一部破断分解斜視図である。

第3図は、第1図の化粧料容器の一部正面断面図である。

第4図は、本発明にかかる化粧料容器の好適な第2実施形態を示す側断面図である。

第5図は、第4図の化粧料容器の蓋体の一部破断分解斜視図である。

第6図は、第4図の化粧料容器の一部正面断面図である。

第7図は、第4図の化粧料容器の交換用カバーを弾性変形させて、係止部から離脱させた状態を示す要部拡大側断面図である。

第8図は、第4図の化粧料容器の交換用カバーをスライドさせて、取り外す過程を示す要部拡大側断面図である。

発明を実施するための最良の形態

以下に、本発明にかかる化粧料容器に関し、幾つかの最良な実施の形態について、添付図面を参照して詳細に説明する。

《第1実施形態》

第1実施形態にかかる化粧料容器101は第1図～第3図に示すように、収納凹部102が形成された皿状の合成樹脂製容器本体103と、容器本体103の前後長さ方向後端にヒンジ104を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体103を開閉するとともに、容器本体103の前端にフック105を介して係脱自在に係合されて当該容器本体103の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体106と、蓋体106および容器本体103の少なくともいずれか一方、図示例にあっては蓋体106に着脱自在に装着され、交換可能に蓋体106を覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー107とから主に構成される。

交換用カバー107の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、交換用カバー107は容器本体103を覆って設けられてもよく、また蓋体106および容器本体103の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体103、蓋体106、並びに交換用カバー107は平面外形輪郭が矩形状に形成されているけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体106の裏面には、鏡108が取り付けられている。

フック105は、容器本体103の前端に形成された凹所109内に突設されたフック用突起110と、蓋体106の前端から垂下されてフック用突起110に係脱自在に係合されるフック片111とから構成される。またヒンジ104は、容器本体103の後端から一対突設されたヒンジ片112間に、蓋体106の後端から垂下させたヒンジブロック113が挟み込まれ、これらヒンジブロック113からヒンジ片112にわたって、容器本体103の左右幅方向にヒンジピン114が挿入されることで構成される。

交換用カバー107は、化粧料容器101、本実施形態にあっては蓋体106の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー107に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー107に対し、一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成さ

れる。交換用カバー１０７は、蓋体１０６の上にこれを覆って重ね合わせて装着される。

図示例に従って説明すると、交換用カバー１０７は、後端を除いて、その周縁から蓋体１０６に向かって垂下させて垂下部１１５が形成されている。

他方、相当の厚さで板状に形成された蓋体１０６には、後端を除いて、その外周壁１０６a下端から水平方向外方へ突出させて、交換用カバー１０７の垂下部１１５が載置される鰐部１１６が形成される。また蓋体１０６の後端には、蓋体１０６の幅方向へ左右の鰐部１１６間にわたって、蓋体１０６の上面１０６bから上方へ突出する立て壁部１１７が形成され、この立て壁部１１７には交換用カバー１０７の後端が当接されるようになっている。同様にして、蓋体１０６前端的な外周壁１０６aには、交換用カバー１０７前端的な垂下部１１５が当接されるようになっている。

このように構成された蓋体１０６と交換用カバー１０７との間には、蓋体１０６に交換用カバー１０７をスライド自在に係合させるスライド係合部が設けられる。スライド係合部は、蓋体１０６の幅方向左右の外周壁１０６aに、鰐部１１６とその直上に突出される底部１１８との間に挟み込むようにして、スライド方向である蓋体１０６の前後方向に沿って適宜長さで設けられた凹部１１９と、交換用カバー１０７の幅方向左右の垂下部１１５下端に内側に向けて凹部１１９よりも短い長さで設けられ、凹部１１９にスライド自在に挿入される凸部１２０とから構成される。

本実施形態にあつては、これら凹部１１９および凸部１２０は蓋体１０６および交換用カバー１０７に対して、当該交換用カバー１０７のスライド方向の適宜位置に設けられる。図示例にあつてはこれら凹部１１９および凸部１２０は、左右の各外周壁１０６aおよび各垂下部１１５の前端側および後端側に、互いに相当の距離を隔てて２箇所形成されているけれども、１箇所でも３箇所以上であっても良い。また、これら凹部１１９と凸部１２０とは、凸部１２０が凹部１１９から上下方向には抜脱不能に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって上下方向に係合される。また、各凹部１１９には、当該凹部１１９に凸部１２０を挿抜自在に挿入するために、その前端側と蓋体上面１０６bとを連通させる切り欠き部１２１が形成され、これにより凹部１１９は、切り欠き部１２１と一連にＬ字状の凹陷部として形成される。従つて、凸部１２０は切り欠き部１２１を介して凹部１１９内に挿入され、さらに底部１１８と鰐部

１１６との間で凹部１１９内を蓋体１０６の前後方向にスライドされるようになっている。

さらに、蓋体１０６と交換用カバー１０７との間には、蓋体１０６に交換用カバー１０７を保持させるために、これら両者を交換用カバー１０７のスライド方向に係脱自在に係止する係止部が設けられる。本実施形態にあつてはこの係止部は、凹部１１９内に弾性変形自在に設けられ、スライドしてくる凸部１２０に係脱自在に係止する係止突起１２２から構成される。係止突起１２２は、底部１１８に切り欠き部１２１から蓋体１０６の後端側に向かって相当の長さでスリット１２３を形成することによって、上下方向に弾性変形可能に形成されたカンチレバー状の弾性片１２４と、この弾性片１２４の先端に下向きに形成された突起１２５とから構成される。

凹部１１９内に挿入された凸部１２０は、突起１２５を介して弾性片１２４を押し上げることで、当該突起１２５をスライド方向に乗り越えて係止されたり、離脱されるようになっている。図示例にあつては、係止突起１２２は、蓋体１０６の前端側の凹部１１９に設けられているけれども、後端側の凹部１１９に設けたり、また蓋体１０６の左右で前端側と後端側とに別々に設けてもよく、さらにはすべての凹部１１９に設けてもよい。

本実施形態にかかる化粧料容器１０１の作用について説明すると、化粧料容器１０１を購入した購買者が蓋体１０６に装着されている交換用カバー１０７を、他のデザインの新たな交換用カバー１０７に交換する際には、交換用カバー１０７を前方に向かってスライドさせる。交換用カバー１０７をスライドさせると、凸部１２０は係止突起１２２から離脱されて凹部１１９の前端に達するので、この状態で交換用カバー１０７を蓋体１０６から引き離せば、凸部１２０が切り欠き部１２１を介して凹部１１９から抜け出すことになり、これにより交換用カバー１０７を蓋体１０６から取り外すことができる。

次いで、新たな交換用カバー１０７を蓋体１０６に装着する際には、凸部１２０を切り欠き部１２１に合わせた状態で交換用カバー１０７を蓋体１０６に重ね合わせることにより、凸部１２０を凹部１１９内に挿入し、その後交換用カバー１０７を後方に向かってスライドさせる。交換用カバー１０７をスライドさせると、凸部１２０は凹部１１９内をスライドして係止突起１２２を乗り越えて係止されることになり、こ

れによって交換用カバー１０７の垂下部１１５が蓋体１０６の鍔部１１６上に載置された状態で、交換用カバー１０７の後端および垂下部１１５の前端が蓋体１０６の立て壁部１１７および外周壁１０６a前端に当接され、これにより交換用カバー１０７を蓋体１０６に重ね合わせて装着することができる。

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器１０１にあっては、蓋体１０６にこれを覆って交換可能に装着される交換用カバー１０７と、蓋体１０６と交換用カバー１０７との間に設けられ、蓋体１０６に交換用カバー１０７をスライド自在に係合させる、凹部１１９と凸部１２０とからなるスライド係合部と、蓋体１０６と交換用カバー１０７との間に設けられ、当該蓋体１０６に交換用カバー１０７を保持させるために、これら両者を交換用カバー１０７のスライド方向に係脱自在に係止する、係止突起１２２からなる係止部とを備えたので、交換用カバー１０７を交換することができ、化粧料容器１０１の外観が生産者の選定したデザインに限定されることがなく、化粧料容器１０１として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

また交換用カバー１０７としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー１０７から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器１０１を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

また主として、凹部１１９と凸部１２０とからなるスライド係合部のスライド操作のみで簡単に交換用カバー１０７の脱着操作を行うことができる。さらに、スライド係合部を、蓋体１０６にスライド方向に沿って設けられた凹部１１９と、交換用カバー１０７に設けられて凹部１１９にスライド自在に挿入される凸部１２０とを備えて構成し、また係止部を、凹部１１９内に弾性変形自在に設けられて凸部１２０に係脱自在に係合する弾性片１２４と突起１２５からなる係止突起１２２から構成したので、凹部１１９と凸部１２０によって、蓋体１０６と交換用カバー１０７のスライド操作を案内することができて、安定した操作性を確保することができるとともに、係止突起１２２の弾性変形によって、凸部１２０の係脱操作も容易化することができる。

また、凹部１１９および凸部１２０を、交換用カバー１０７のスライド方向の適宜位置に設けるとともに、凹部１１９にはこれに凸部１２０を挿抜自在に挿入するため

の切り欠き部 1 2 1 を設けたので、スライド操作を案内する凹部 1 1 9 内への凸部 1 2 0 の挿入をスライド方向の適宜位置で行うことが可能となり、スライド操作量を短く設定することができて、交換用カバー 1 0 7 の脱着操作の簡便化を図ることができる。

ところで、容器本体 1 0 3、蓋体 1 0 6、並びに交換用カバー 1 0 7 の平面外形輪郭を多角形状や円形状とした場合には、例えば蓋体 1 0 6 の上面 1 0 6 b にスライド凹溝を形成するとともに、交換用カバー 1 0 7 から垂下させてスライド凸条を形成するなどしてスライド係合部を構成し、この凹溝や凸条に係止部を組み込むようにすればよい。

上述した本実施形態にあつては、蓋体 1 0 6 に交換可能にこれを覆う交換用カバー 1 0 7 を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体 1 0 3 に交換用カバー 1 0 7 を設ける場合には、容器本体 1 0 3 と交換用カバー 1 0 7 との間にスライド係合部や係止部を設けるようにし、この際、凹部 1 1 9 や係止突起 1 2 2、切り欠き部 1 2 1 は、容器本体 1 0 3 もしくは交換用カバー 1 0 7 のいずれか一方に設ける一方で、凸部 1 2 0 は他方に設けるようにする。

さらに、本実施形態にあつては、ヒンジ 1 0 4 やフック 1 0 5 を備えた化粧料容器 1 0 1 を例示して説明したが、これに限らず、容器本体 1 0 3 に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体 1 0 6 を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

《第 2 実施形態》

第 2 実施形態にかかる化粧料容器 2 0 1 は第 4 図 4 ～第 8 図に示すように、収納凹部 2 0 2 が形成された皿状の合成樹脂製容器本体 2 0 3 と、容器本体 2 0 3 の前後長さ方向後端にヒンジ 2 0 4 を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体 2 0 3 を開閉するとともに、容器本体 2 0 3 の前端にフック 2 0 5 を介して係脱自在に係合されて当該容器本体 2 0 3 の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体 2 0 6 と、蓋体 2 0 6 および容器本体 2 0 3 の少なくともいずれか一方、図示例にあつては蓋体 2 0 6 に着脱自在に重ね合わせて装着され、交換可能に蓋体 2 0 6 を覆う弾性変形可能な板体状の合成樹脂製の交換用カバー 2 0 7 とから主に構成される。

交換用カバー 2 0 7 の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、

交換用カバー２０７は容器本体２０３を覆って設けられてもよく、また蓋体２０６および容器本体２０３の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体２０３、蓋体２０６、並びに交換用カバー２０７は平面外形輪郭が矩形状に形成されているけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体２０６の裏面には、鏡２０８が取り付けられている。

フック２０５は、容器本体２０３の前端に形成された凹所２０９内に突設されたフック用突起２１０と、蓋体２０６の前端から垂下されてフック用突起２１０に係脱自在に係合されるフック片２１１とから構成される。またヒンジ２０４は、容器本体２０３の後端から一対突設されたヒンジ片２１２間に、蓋体２０６の後端から垂下させたヒンジブロック２１３が挟み込まれ、これらヒンジブロック２１３からヒンジ片２１２にわたって、容器本体２０３の左右幅方向にヒンジピン２１４が挿入されることで構成される。

交換用カバー２０７は、化粧品容器２０１、本実施形態にあっては蓋体２０６の匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー２０７に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー２０７に対し、一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。

さらに詳細に説明すると、交換用カバー２０７は、後端を除いて、その周縁から蓋体２０６に向かって垂下させて垂下部２１５が形成される。垂下部２１５のうち、交換用カバー２０７の左右幅方向の一対の垂下部２１５にはそれぞれ、交換用カバー２０７の前後方向に沿って相当の長さでかつ内側に突出させて、スライド用リブ２１６が形成される。交換用カバー２０７前端の垂下部２１５には、交換用カバー２０７の幅方向に適宜間隔を隔ててかつ内側に突出させて、２つの保持突起２１７が形成される。

また交換用カバー２０７には、その後端から後方へ突出させて、係止片２１８が形成される。係止片２１８の先端には、上向きの凸部２１９が形成される。そして交換用カバー２０７は、前端および左右の垂下部２１５によって、係止片２１８を備えた後端周辺が蓋体２０６に向かって十分に弾性変形できるようになっている。

他方、相当の厚さで板状に形成された蓋体 206 には、後端を除いて、その外周壁 206 a 下端から水平方向外方へ突出させて、交換用カバー 207 の垂下部 215 が載置される鏝部 220 が形成される。また蓋体 206 の後端には、蓋体 206 の幅方向へ左右の鏝部 220 間にわたって、蓋体 206 の上面 206 b から上方へ突出する膨出部 221 が形成され、この膨出部 221 には交換用カバー 207 の後端が当接されるようになっている。

同様に、蓋体 206 前端の外周壁 206 a には、交換用カバー 207 前端の垂下部 215 が当接されるようになっている。

外周壁 206 a のうち、蓋体 206 の左右幅方向の一对の外周壁 206 a にはそれぞれ、蓋体 206 の前端から後方へ向かって相当の長さでかつ内側に窪ませて、スライド用リブ 216 が挿抜自在に挿入されるスライド用溝 222 が形成され、これらスライド用溝 222 およびスライド用リブ 216 によって、蓋体 206 と交換用カバー 207 との間に、蓋体 206 に対して交換用カバー 207 をスライド自在に係合させるスライド係合部が設けられるようになっている。そしてスライド用リブ 216 は、蓋体 206 の前端からスライド用溝 222 に挿入されて、蓋体 206 の前後方向にスライドされる。これらスライド用リブ 216 とスライド用溝 222 とは、上下方向に互いに抜脱不能にかつ前後方向へスライド可能に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって係合される。

また蓋体 206 前端の外周壁 206 a には、交換用カバー 207 の保持突起 217 と対応する箇所に、内側へ窪ませて、当該保持突起 217 が挿抜自在に挿入される保持溝 223 が形成され、これら保持溝 223 と保持突起 217 とによって、蓋体 206 と交換用カバー 207 との間に、交換用カバー 207 を蓋体 206 に保持する保持部が設けられるようになっている。これら保持突起 217 と保持溝 223 にあっても、上下方向に互いに抜脱不能にかつ前後方向へ係脱自在に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって係合される。そして、保持突起 217 は、交換用カバー 207 前端の垂下部 215 が蓋体 206 前端の外周壁 206 a に当接されることに応じて、保持溝 223 と係脱自在に係合される。

さらに蓋体 206 には、交換用カバー 207 に面するその上面 206 b の膨出部 221 側に窪み部 224 が形成されるとともに、ヒンジブロック 213 の幅方向中央部

にその下端から膨出部 2 2 1 にわたって、当該ヒンジブロック 2 1 3 の背面部 2 1 3 a を残して一連に、窪み部 2 2 4 と連通される縦溝 2 2 5 が形成される。そして窪み部 2 2 4 に向かって開放された縦溝 2 2 5 の上端には、膨出部 2 2 1 の頂面から下向きに突出させて係止突起 2 2 6 が設けられ、これら係止突起 2 2 6 および上記係止片 2 1 8 によって、蓋体 2 0 6 と交換用カバー 2 0 7 との間に、スライドされる当該交換用カバー 2 0 7 を蓋体 2 0 6 に係止する係止部が設けられるようになっている。

これら係止突起 2 2 6 と係止片 2 1 8 の凸部 2 1 9 にあっては、交換用カバー 2 0 7 のスライド方向である前後方向に互いに抜脱不能にかつ上下方向に係脱自在に、角付けされた出隅と入隅の関係をもって係合される。そして、係止片 2 1 8 は、交換用カバー 2 0 7 後端が蓋体 2 0 6 後端の膨出部 2 2 1 に当接されることに応じて、その凸部 2 1 9 が係止突起 2 2 6 の下から潜り込んで係止される。そしてさらに窪み部 2 2 4 は、交換用カバー 2 0 7 を係止突起 2 2 6 から離脱させるために、交換用カバー 2 0 7 と蓋体 2 0 6 との間にスペース S を形成して当該交換用カバー 2 0 7 の押し下げによる弾性変形を許容するようになっている。

本実施形態にかかる化粧料容器 2 0 1 の作用について説明すると、化粧料容器 2 0 1 を購入した購買者が蓋体 2 0 6 に装着されている交換用カバー 2 0 7 を、他のデザインの新たな交換用カバー 2 0 7 に交換する際には、まず、窪み部 2 2 4 上に位置する交換用カバー 2 0 7 の後端部分を押し下げて弾性変形させる。このように交換用カバー 2 0 7 を弾性変形させることで、図 4 に示すように係止片 2 1 8 が係止突起 2 2 6 よりも下方に押し下げられ、これによって係止部による係止が離脱される。

この状態で交換用カバー 2 0 7 を前方に向かって引く。交換用カバー 2 0 7 を引くと、スライド用溝 2 2 2 に沿ってスライド用リブ 2 1 6 が移動し、これに伴って図 5 に示すように係止片 2 1 8 が膨出部 2 2 1 から抜き出されるとともに、保持突起 2 1 7 も保持溝 2 2 3 から離脱されることになり、これにより交換用カバー 2 0 7 を蓋体 2 0 6 から取り外すことができる。

次いで、新たな交換用カバー 2 0 7 を蓋体 2 0 6 に装着する際には、蓋体 2 0 6 の前端からスライド用リブ 2 1 6 をスライド用溝 2 2 2 に差し込んで、交換用カバー 2 0 7 を後方に向かってスライドさせる。交換用カバー 2 0 7 の後端が膨出部 2 2 1 に達すると、交換用カバー 2 0 7 の弾性変形を伴いながら、係止片 2 1 8 は係止突起 2

26の下に潜り込んで係止され、またこれと同時に保持溝223に保持突起217が係合されることになり、これとともに交換用カバー207の垂下部215が蓋体206の鍔部220上に載置された状態で、交換用カバー207の後端および垂下部215の前端が蓋体206の膨出部221および外周壁206a前端と当接されて、これにより交換用カバー207を蓋体206に重ね合わせて装着することができる。

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器201にあっては、蓋体206にこれを覆って交換可能に重ね合わせて装着される弾性変形可能な交換用カバー207と、蓋体206と交換用カバー207との間に設けられ、蓋体206に交換用カバー207をスライド自在に係合させる、スライド用リブ216とスライド用溝222からなるスライド係合部と、蓋体206と交換用カバー207との間に設けられ、当該蓋体206に、スライドされる交換用カバー207に係止する、係止片218と係止突起226とからなる係止部と、蓋体206に設けられ、交換用カバー207に係止部から離脱させるために交換用カバー207の弾性変形を許容する窪み部224とを備えたので、交換用カバー207を交換することができ、化粧料容器201の外観が生産者の選定したデザインに限定されることがなく、化粧料容器201として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

また交換用カバー207としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー207から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器201を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

また主として、スライド用リブ216とスライド用溝222とからなるスライド係合部のスライド操作のみで簡単に交換用カバー207の脱着操作を行うことができる。また、蓋体206と交換用カバー207との間に、交換用カバー207を当該蓋体206に保持する、保持突起217と保持溝223からなる保持部を設けたので、スライド自在な交換用カバー207を固定的にしっかりと蓋体206に保持することができる。さらに、

スライド用溝222とスライド用リブ216によって、蓋体206と交換用カバー207のスライド操作を案内することができ、安定した操作性を確保することができ

る。

また、交換用カバー２０７を弾性変形可能に形成するとともに、その弾性変形を許容する窪み部２２４を蓋体２０６に設けたので、係止突起２２６に対する係止片２１８の係脱操作を容易化することができる。また、係止突起２２６と係止片２１８とを出隅と入隅の関係をもってスライド方向に抜脱不能に係合させたので、この構成からも交換用カバー２０７を蓋体２０６にしっかりと固定することができ、化粧品容器２０１に落下などによる衝撃が作用した場合に、交換用カバー２０７が簡単に脱落してしまうことを防止できる。

ところで、容器本体２０３、蓋体２０６、並びに交換用カバー２０７の平面外形輪郭を多角形状や円形状とした場合には、例えば蓋体２０６の上面２０６ｂにスライド凹溝を形成するとともに、交換用カバー２０７から垂下させてスライド凸条を形成するなどしてスライド係合部を構成すればよい。

上述した本第２実施形態にあつては、蓋体２０６に交換可能にこれを覆う交換用カバー２０７を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体２０３に交換用カバー２０７を設ける場合には、容器本体２０３と交換用カバー２０７との間にスライド係合部や係止部、保持部を設けるようにし、また窪み部２２４は容器本体２０３に設けるようにすればよい。

さらに、本第２実施形態にあつては、ヒンジ２０４やフック２０５を備えた化粧品容器２０１を例示して説明したが、これに限らず、容器本体２０３に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体２０６を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

産業上の利用可能性

以上、本発明の実施形態によって詳細に説明したように、本発明に係わる化粧品容器によれば、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧品容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けることにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができる

ともに、かつまた購買者が好みに応じて外観を選択し得る自由度を高めることができる。

請求の範囲

1. 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧品容器において、

上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に装着される交換用カバーと、

上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、

上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーを保持させるために、これら両者を該交換用カバーのスライド方向に係脱自在に係止する係止部と

を備えたことを特徴とする化粧品容器。

2. 前記スライド係合部が、前記蓋体もしくは前記容器本体および前記交換用カバーのいずれか一方にスライド方向に沿って設けられた凹部と、いずれか他方に設けられて該凹部にスライド自在に挿入される凸部とを備え、前記係止部が、上記凹部内に弾性変形自在に設けられて上記凸部に係脱自在に係合する係止突起であることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の化粧品容器。

3. 前記凹部および前記凸部が、前記交換用カバーのスライド方向の適宜位置に設けられるとともに、上記凹部にはこれに上記凸部を挿抜自在に挿入するための切り欠き部が設けられていることを特徴とする請求の範囲第2項に記載の化粧品容器。

4. 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧品容器において、

上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、これらを覆って交換可能に重ね合わせて装着される弾性変形可能な交換用カバーと、

上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、これら蓋体もしくは容器本体に該交換用カバーをスライド自在に係合させるスライド係合部と、

上記蓋体もしくは上記容器本体と上記交換用カバーとの間に設けられ、当該蓋体もしくは容器本体に、スライドされる該交換用カバーに係止する係止部と、

上記蓋体もしくは上記容器本体に設けられ、上記交換用カバーを上記係止部から離脱させるために該交換用カバーの弾性変形を許容する窪み部と

を備えたことを特徴とする化粧品容器。

5. 前記蓋体もしくは前記容器本体と前記交換用カバーとの間には、該交換用カバーを当該蓋体もしくは容器本体に保持する保持部が設けられていることを特徴とする請求の範囲第4項に記載の化粧品容器。

要 約 書

容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧品容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けることにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることを可能にするとともに、かつまた購買者が好みに応じて外観を選択し得る自由度を高めることを可能にする。